

## 令和5年度 第1回海老名市下水道運営審議会会議結果

開催日時等	令和5年8月4日（金）13:30～14:30 市役所6階 議員全員協議会室		
出席委員 ◎会長 ○副会長	◎古河 伸夫    ○福田 修    伊藤 孝    難波 光子    大谷 澄子 萩原 修正		委員10名中6名出席
事務局	理事兼まちづくり部長 理事（都市・建設担当） まちづくり部次長（都市担当） まちづくり部次長（建設担当） まちづくり部参事（下水道会計担当） 下水道課長 下水道課管路施設担当課長 下水道課主幹兼業務係長 管路施設係長 経営係長 経営係主任主事 経営係主任主事	谷澤 康徳 松本 潤朗 清田 聡 佐藤 秀之 石黒 貴博 川崎 宗一 稲子 幹人 澤田 真理 齋藤 雄一 中嶋 純一 大乘 文哉 原 沙織	
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
議事結果	<p>1 議題</p> <p>(1) 令和4年度決算（経営）状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の海老名市公共下水道事業会計における決算状況の説明を、【資料1】を基に事務局より説明を行った。</li> </ul> <p><b>【質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現金預金残高について、当面の間10億円を確保したいとのことだが、どのような対策をされるのかお聞きしたい。</li> <li>・また、見込みの確実性は高いのか。</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度末時点の現金預金残高が3.5億円まで減少した原因は主に電気代高騰によるものである。この先も厳しい状況は続く見込みであるが、令和10年度に企業債の償還がピークを越え返済額が減少していくため資金が増加していく見込みである。しかしながら、当面10億円を確保することはなかなか厳しいところがあるので、方策を講じて苦しい状況を乗り越えていきたいと考えている。</li> <li>・企業債は過去50年間で借りたもので、償還額は決まっている。企業債の発行を抑制していくため、企業債の償還額が増えていくことはないため確実性は高いと考えている。また、企業債の残高が減ることにより、それに伴う利息の償還額も減っていく。電気代高騰等も踏まえても令和10年度以降は資金に余裕が出てくる見込みである。</li> <li>・補足として、令和4年度に下水道使用料の改定をした。この値上げにより</li> </ul>		

10 億円を確保できるような形で進めていた。ただ、その後、ウクライナ情勢などの影響により燃料が高騰し、県の流域下水道に支払わなければならない負担金が増加してしまった。

また、当面の間 10 億円を確保したい理由は、半年分の企業債元利償還金及び流域下水道負担金に災害復旧費を足したものが、瞬間的に必要となる最大の現金であると設定しているからです。

(2) 経営戦略改定について

- ・海老名市における改定のポイントやスケジュール等、【資料 2】を基に事務局より説明を行った。

【質問①】

- ・「BCP 計画」の意味を教えてください。
  - ・BCP 計画に伴う訓練の内容を教えてください。
- また、訓練は年に 1 回実施しているのか。

【回答】

・「BCP 計画」とは、災害などが起きた際に下水道業務の継続や復旧するためのマニュアルのようなもの。

「BCP」とは、Business Continuity Plan（ビジネス・コンティニューイティ・プラン）の略。事業を継続していくための計画という意味。

なぜ BCP が必要かと言うと、下水道も大事なインフラで、災害が起きて管が使えなくなり排出できないと大変なことになる。その際、まずどんなことから復旧していくか、その為に職員はなにをするのか、そういったものが BCP に示されている。経営戦略の中に BCP 計画に伴う訓練をするということを目標として定めている。

経営戦略の見直しをしなければならない理由は、経営戦略は人口の影響が大きく、人口が変わると経営の考え方も少し変わる。当市は 7 月に人口が 14 万人に達し、今後の経営の考え方も見直ししていかなければならない。

・補足として、災害等で通常行ってきた下水道業務が行えなくなった際に、いかに早く通常業務に戻すかという仕組みを計画立てたものが BCP である。下水道業務や市役所だけではなく、様々な組織そういった考え方のもと作成している。

・BCP 計画に伴う訓練の内容については、例えば、地震災害時に下水道が繋がらない状況などのシナリオに沿ってシミュレーションをしている。あるいは、現場の实地確認にて管渠の破損を発見した場合どのように復旧をしていくか想定し訓練を行っている。ここ数年はコロナの影響で現場での訓練は行えなかったため、コンピューターが動かなくなり下水道台帳が見られなくなったときの対応などを机上訓練した。

訓練は最低でも年に 1 回実施することとしている。

**【質問②】**

- ・「PDCA サイクル」の意味を教えてください。

**【回答】**

・「PDCA サイクル」とは、Plan（プラン）、Do（ドゥ）、Check（チェック）、Action（アクション）の略。計画を立てて実行し、その行動を評価し、結果に基づき改善を図り、またさらに計画を立てるといったサイクルになる。人口の変動や電気代高騰など外からの要因もあわせて考え見直しをして、また新たに計画を10年間分つukっていくことをPDCA サイクルと表現をしている。

**【質問③】**

- ・経営戦略は市議会の議決が必要なのか。

**【回答】**

- ・現経営戦略策定の際は、議決ではなく報告をした。

2 その他

- ・事務局より今年度の審議会開催日程について連絡した。

以上